

子育て支援センター・児童館のPRの手段につきましては、現在のところ、広報「いびがわ」でのお知らせ、町ホームページへの掲載、民生児童委員さん、保健師によるPR、各保育園なかよしタイムでのPRにて参加を呼びかけているところです。今後は、新聞等マスコミを利用したPRや広報無線によるPRも行い広く町民の方に周知したいと考えております。

答 富田和弘収入役

新町発足時に国体担当及び揖斐川地区下水道推進担当参与に拜命をいただきまして、以来、国体誘致につきましては、関係機関に積極的に誘致活動を行ってまいりました。

また、下水道の推進については、参与として清水地区、胨永地区の地元の方々と協議を賜り、ご理解をいただきまして発注への運びとさせていただきます。

問 参与の特命事項と職員定数について

新揖斐川町発足と同時に、旧町村の三役を中心にして参与制度が一般職として、新規発足しました。その後、5ヶ月半ばを過ぎておりますが、それぞれの特命事項、命令系統、部下の掌握について、町長の考えをお聞かせください。

また、揖斐川町職員数は、本年6月1日現在、417名を数えます。この人員は、近隣の同規模の町より多く、合併当初の住民サービスの低下を防ぎ、広大な面積を勘案しても200名は完全に過剰と考えます。早急に適正な定数を定め、どのようなにして適正人員に実人員を切り下げしていくか方針をお聞かせください。

4月1日からは、収入役として行政機能の円滑・公正な運営に全力を挙げて努めております。

今後、町執行部の一員として、下水道事業の推進、国体誘致について、宗宮町政を支えてまいりたいと思います。

答 小寺繁教育長

1月31日より、地域医療担当参与として、山間地域の医療体制に関する事、山間地域の医師の確保対策についてその職務についております。山間地域の住民が地域で安心な生活を送るための医療体制の確保には、医師の確保が最優先されるものですが、これらのことについて、ある程度目途も見えてまいりました。今は、残る課題についても順次、引

き継ぎを行っております。

3月の第1回定例会において教育委員に選任同意をいただき、翌24日に教育長として任命され、現在、学校訪問や社会教育施設の巡回など、全力を傾注して教育行政に鋭意努力しております。今後は、揖斐川町教育発展のために、各教育委員と協力を深めて文化の薫り高い郷土の発展に努めたいと思います。

答 宗宮孝生町長

参与の任命については、合併後の新町における各地域の重要課題について、個々の地域に精通し豊富な行政経験を持つている元助役、収入役、教育長を充てることにより、今後の町政が円滑に進むよう旧6町村の協議により合併協議の中で、任命したものです。収入役と教育長の職分と特命事項については、当人たちの多彩な人脈と豊富な行政経験を町行政に反映させるため特別職就任後も引き続き命じているもので、ある程度、目途がつきましたら特命を解くつもりです。

各特命参与と所管の部長次長との関係、命令系統、部下の掌握、特命事項についてですが、参与はスタッフ職であり、原則としてライン職である部長次長の指揮系統と重複しません。

次に、職員数の削減と適正定員数、

その実現方法については、新町建設計画において、10年間で1000人の削減を見込んでおります。新町の定員適正化計画については、今年度中の策定を予定していますが、旧5村の地域を守るため、また継続事業もあり、山間部を多く抱えるという特殊事情もありますので、一概に人口が同一規模の町村と比較するのは、どうかと思いますが基本的には、新町建設計画の考え方を踏襲していきたいと考えております。

しかしながら、人件費の抑制は必要と考えており、本町においては勸奨退職制度もありますので、その制度を活用し、総職員数の削減に努めてまいりたいと考えております。

高橋卓議員

問 福井県池田町との議員交流について

旧藤橋村では、隣接の福井県池田町と密接な議員交流をしてきました。交流の理由のひとつに、国道417号線の冠山峠道路の早期完成があり、約10年後の開通を目指しています。池田町との議員交流を再開して、魅力ある観光環境づくりのため、観光情報、地域情報の提供、道